

ちよだの声 NEWS

vol.9

区長選後初の予算議会が、減額修正と10項目の条件をつけて終わりました!

桜満開、入学のシーズンを迎え皆様いかがお過ごしですか?

30日間を要した予算議会が3月29日に終わりました。都庁からの大きな風に吹き飛ばされたような区長選をへた直後の議会でした。

「選挙で区民ファーストと約束した通りに区政を進めさせる」という作戦で、不可解な計画にはストップあるいは修正をかけさせました。

また、「子どもたちの為の土地購入」等、

1,000億円の基金があればこそできる、積極的取り組みを求めました。予算特別委員会を1日延長して夜の10時まで連続連夜論争の予算特別委員会でした。

「付帯決議」^{*}10項目に論点の多くが含まれているので、今回のFAXニュースでは項目を列挙し解説します。

*今回の付帯決議は、区議会が行政に対して平成29年度中に事業を行うに当たり踏まえるべき事を強力に求めたもの。

1. 九段中等教育学校校舎、校庭について

ストップ

2. 箱根千代田荘について

廃止から活用へ

3. 軽井沢少年自然の家について

拡充へ

4. 居宅訪問型保育事業 (ベビーシッター制度)について

拡充へ

5. 区内私立保育園保育士について

検討を要する

6. 外濠公園総合グラウンド整備について

検討を要する

7. 北の丸公園周辺まちづくり基本構想について

検討を要する

8. 外神田一丁目公共施設整備(仮称)について

富士見校舎移転後の用途も明らかでないまま、九段中等の狭い校庭内に新校舎を増設する予算が示された。学校関係者も誰の意見も聞いていないということで予算削除へ。

廃止の方針が決まっていたが、貴重な区民の財産であり活用策を講じるべきである。

保育園待機児救済策として千代田区独自にベビーシッター派遣をしているが交通費助成を一日2,000円まで増額すること。

区内施設で働く保育士の奨学金について助成制度を創設すること。

利用者の意見を聞いて整備すること。

オリパラ事業の一環として皇居周辺ランナー等のため13億円をかけて代官町通り歩道拡幅工事を行う。北の丸公園の大山巣像や樹木を動かしてバリアフリーにするとの考え方について地域住民や歴史に造詣の深い方々の意見を取り入れ再考すること。

出張所の移転建て替えを再開発誘導と切り離し、平成29年秋までの猶予で再検討すること。

まだ使える四番町の図書館等を壊して、建てかえ期間中の6年間のために20億円かけて仮住宅をつくるのは、二重三重にもったいない。地域住民の意見を聞き、地域行政需要を確認の上、着手すること。

区が主催・助成する人間国宝関連事業等について、平成29年度中に見直し、伝統芸能を含む新たな事業の抜本的検討。

9. 区立麹町仮住宅(仮称)及び 四番町施設について

検討を要する

検討を要する

10. 伝統芸能を含む新たな事業について

検討を要する

その他:4月1日現在の千代田区の人口は36年ぶりに6万人を超みました。平成28年4月1日現在の人口は60,297名(住民基本台帳上)。ちなみに区内在勤者数は819,247名(平成22年国勢調査)

〒102-8688

千代田区九段南1-2-1 千代田区役所7階 ちよだの声
TEL.03-3264-2111(代表) FAX.03-3237-9805
千代田区議会議員 小林たかや 小枝すみ子

メールでの配信でご希望の方はメールください。

✉ office@chiyoda-no-koe.net